



株式会社 カの源ホールディングス 【証券コード: 3561】



2021年5月14日

2021年3月期 決算補足説明資料

■	2021年3月期 決算報告	
➤	連結損益計算書	P. 3
➤	連結四半期別売上利益	P. 4
➤	国内・海外四半期別売上利益	P. 5
➤	セグメント別概要	P. 7
➤	特別損失額内訳	P.16
➤	連結貸借対照表	P.17
➤	連結CF計算書	P.18
➤	エリア別店舗数	P.19
■	主な実施事項	P.20
■	2021年3月期（今期）業績予想	P.28
■	付属資料	P.31

2021年3月期 決算報告



日本
一風堂 横浜泉店
2021年4月28日 Grand Open

連結損益計算書



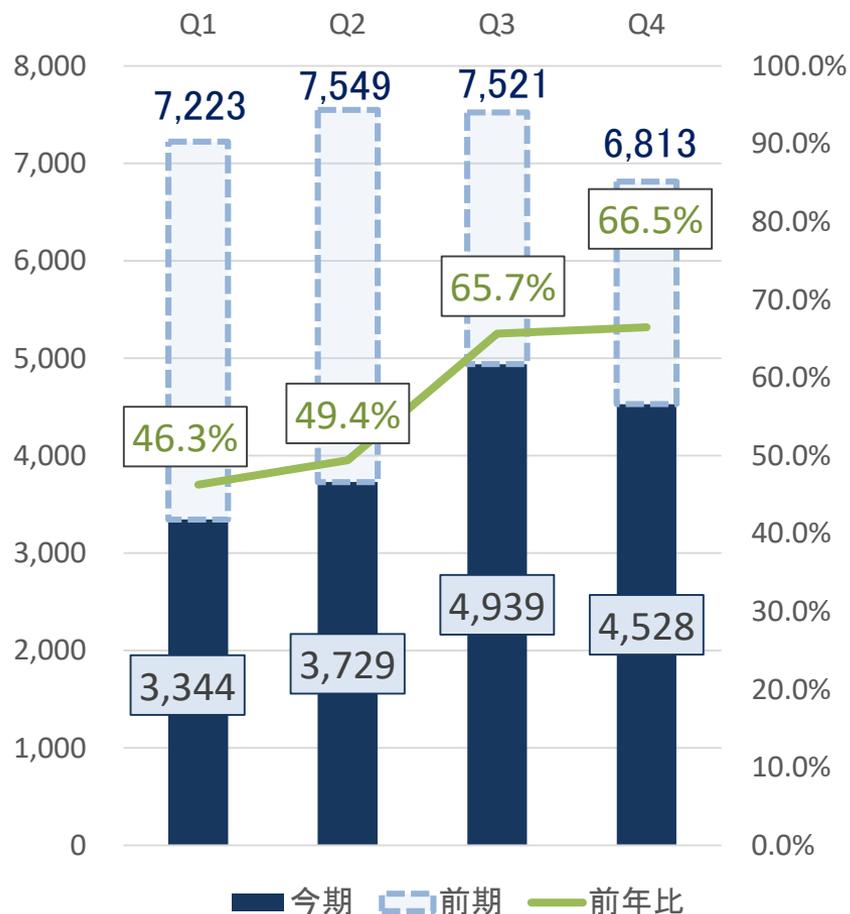
CHIKARA no MOTO

	2021年3月期 実績	2021年3月期 計画 2021.2.12公表	2020年3月期 実績	計画比	前年比
単位：百万円					
売上高	16,539	16,322	29,106	+1.3%	-43.2%
売上総利益	11,470	—	20,640	—	-44.4%
販売費及び 一般管理費	12,450	—	19,943	—	-37.5%
営業利益	-980	-1,079	697	—	—
経常利益	-1,010	-1,178	623	—	—
税金等調整前 四半期純利益	-2,373	—	-344	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-2,392	-2,305	-214	—	—

国内店舗はQ1とQ4において、海外店舗は4月から12月の多数のエリアにおいて、政府または自治体からの休業や営業時間短縮要請の影響等により、売上高が前年比56.8%となった。計画対比では営業損失は圧縮したものの、休業期間にかかる固定費を特別損失として大きく計上

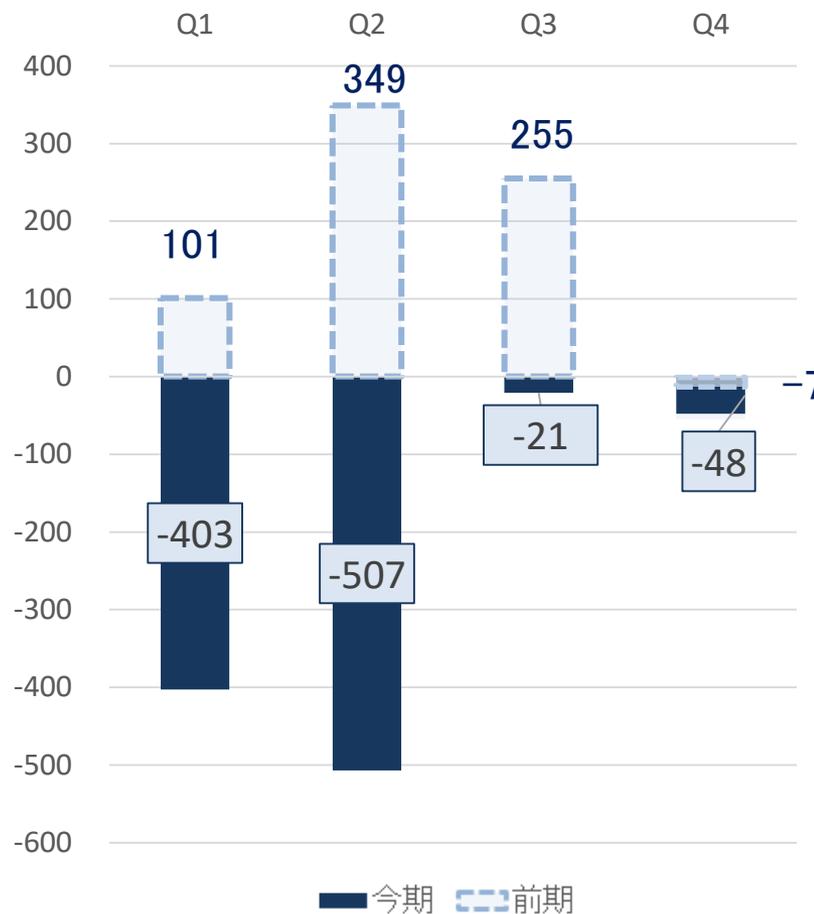
連結四半期別売上高・営業利益の前年比推移

売上高



営業利益

単位：百万円



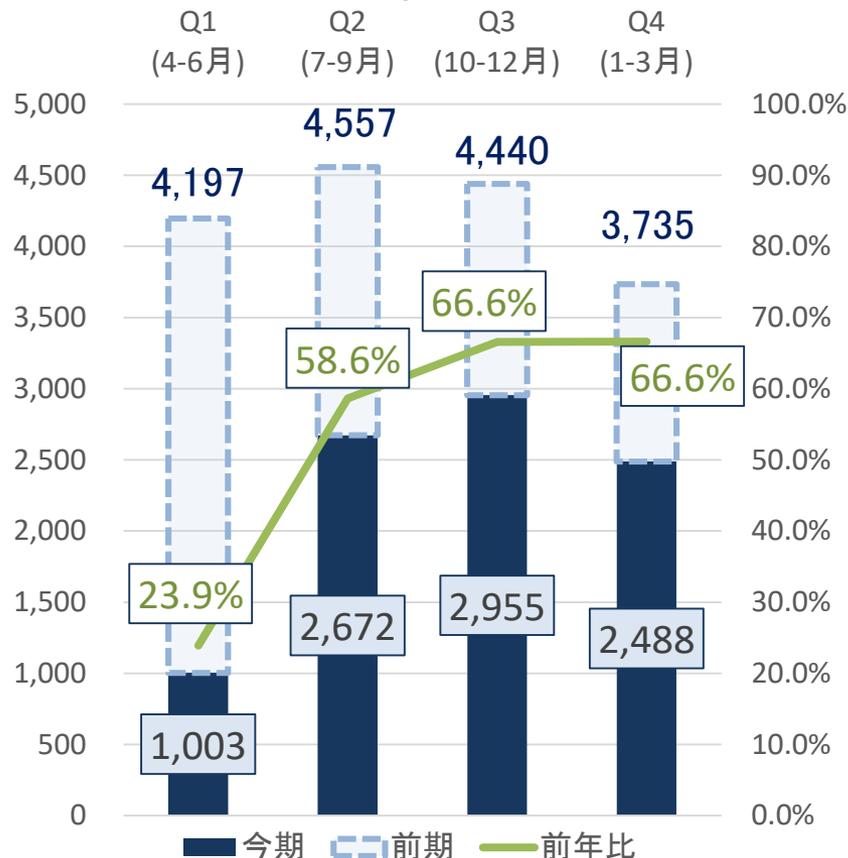
**売上高はQ3・Q4と回復傾向となり、
営業利益はコスト削減施策が功を奏し、黒字転換目前、
Q4の緊急事態宣言の再発出を受けて売上高微減**

国内・海外における四半期別売上高前年比推移

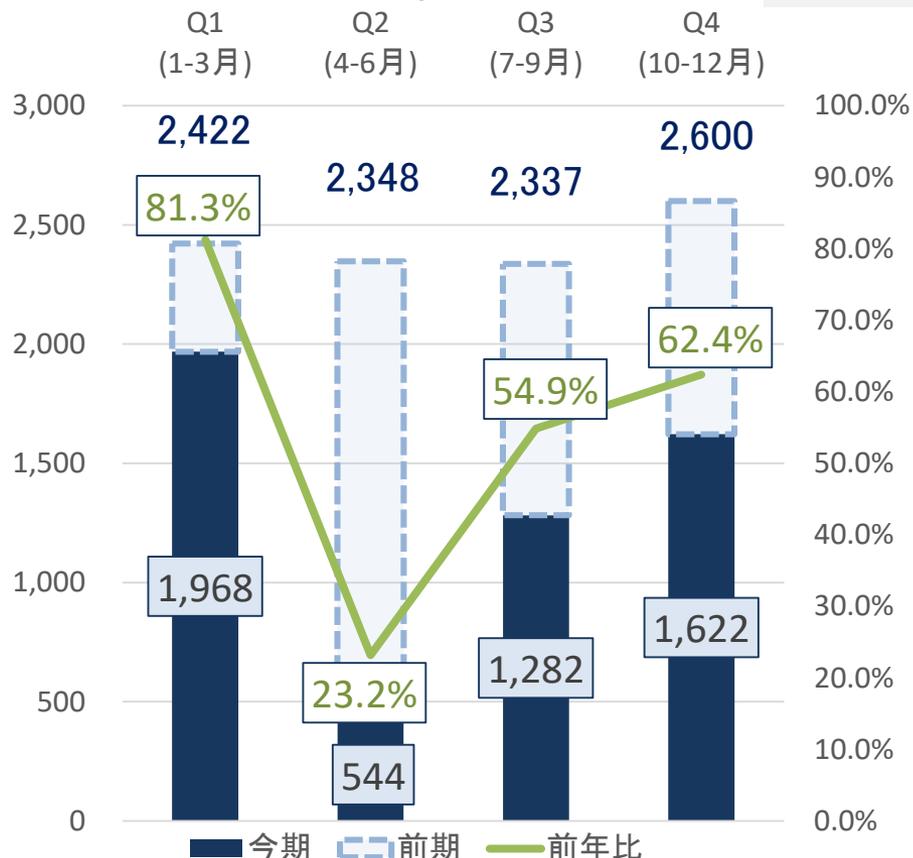


CHIKARA no MOTO

国内店舗運営事業



海外店舗運営事業

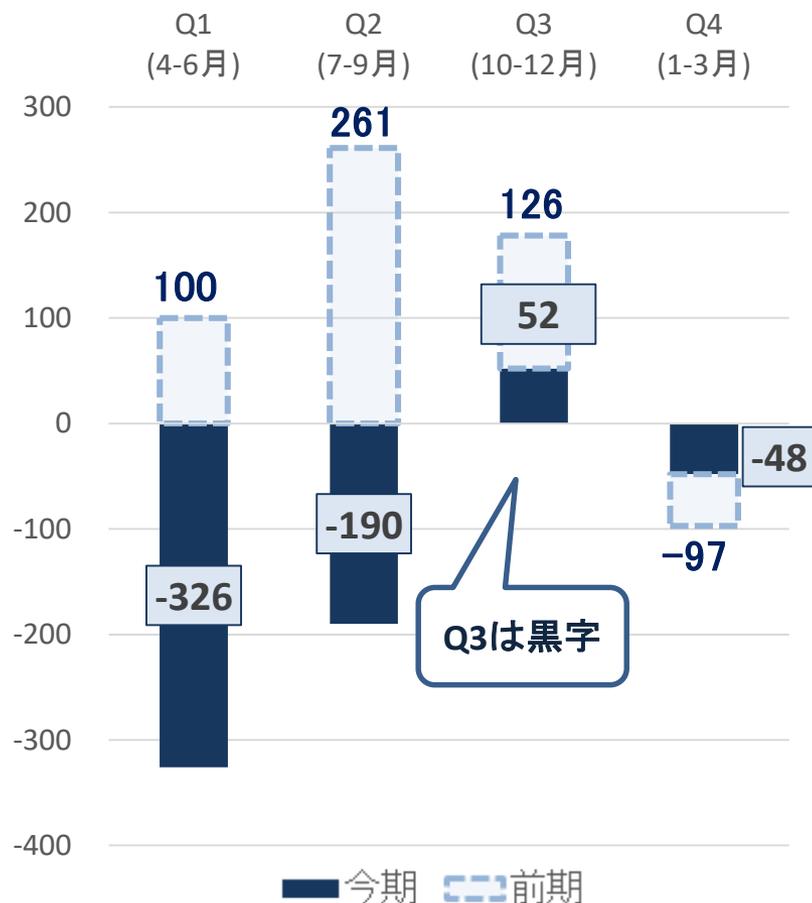


単位：百万円

	Q1	Q2	Q3	Q4 ※ 詳細は月次速報を参照
国内	緊急事態宣言により店休実施、営業再開	時間短縮による営業	売上高回復も、感染の再拡大による影響あり	2回目の緊急事態宣言による時短営業影響あり
海外	ロックダウンの影響あり	エリアによってロックダウン	エリアにより営業再開	感染再拡大によりエリアによってロックダウン

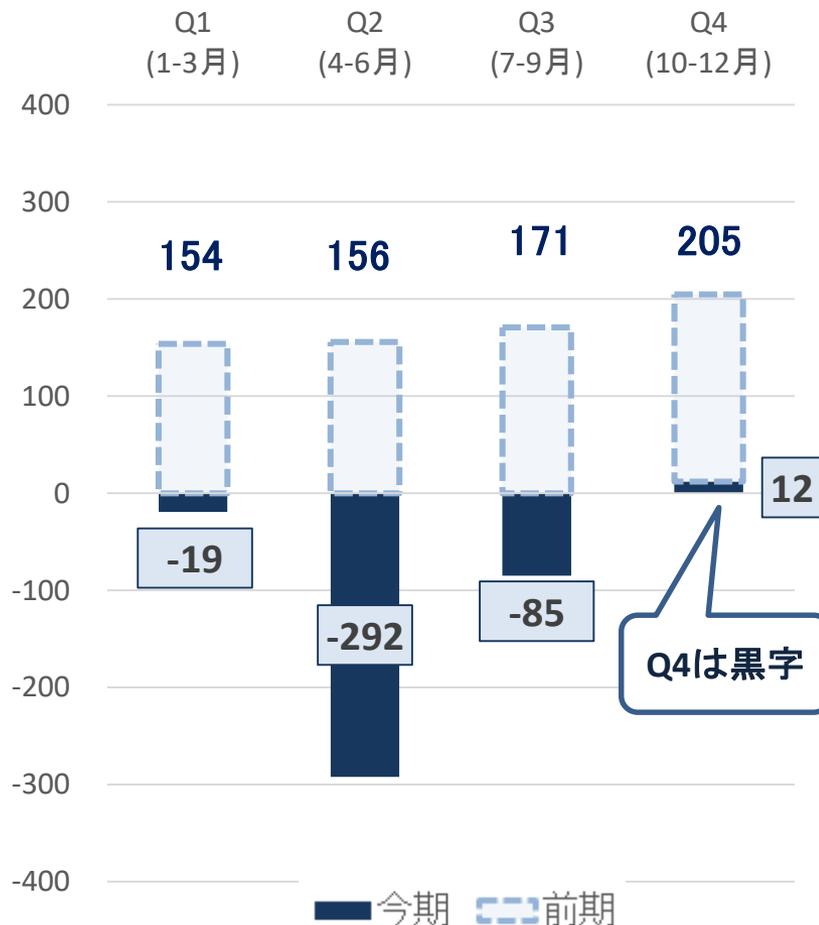
国内・海外における四半期別営業利益前年比推移

国内店舗運営事業



海外店舗運営事業

単位：百万円

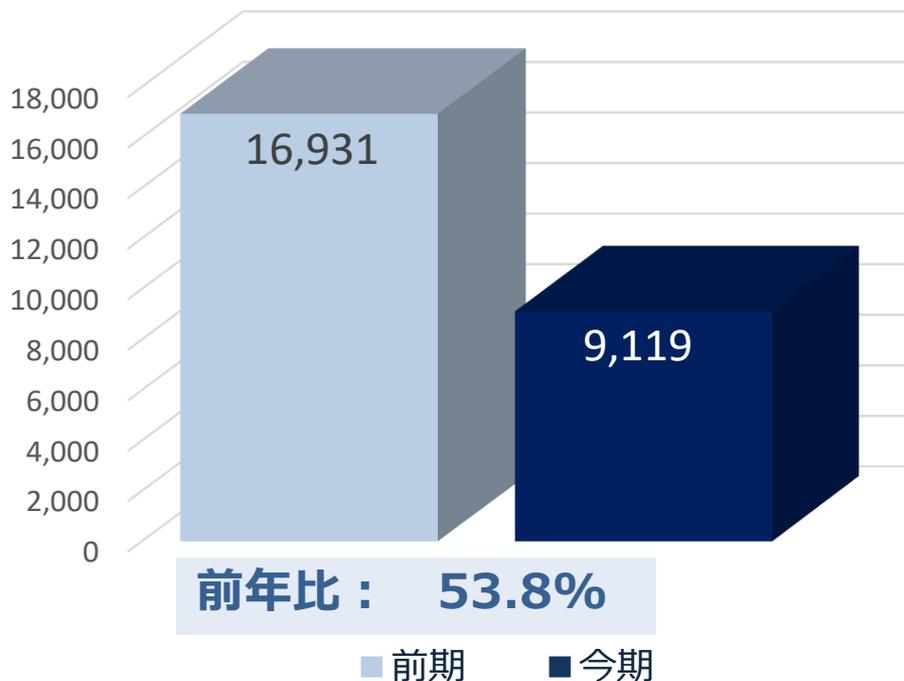


国内店舗はQ1とQ4、海外店舗はQ2とQ4でのコロナ感染拡大の影響を受けるも、固定費を含む販管費の削減及び不採算店舗の閉店等により国内海外共に改善傾向

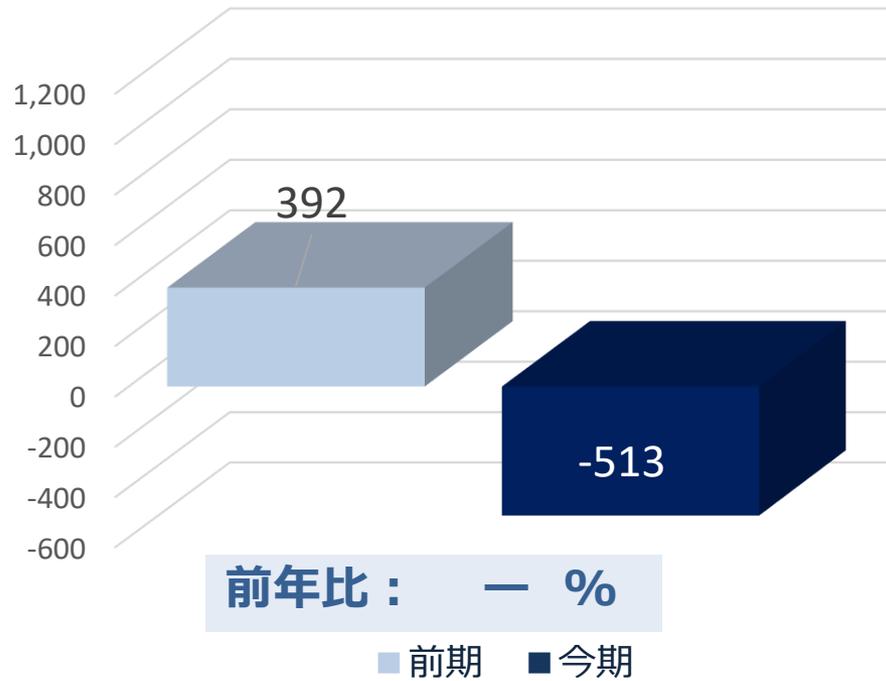
累計：国内店舗運営

単位：百万円

売上高



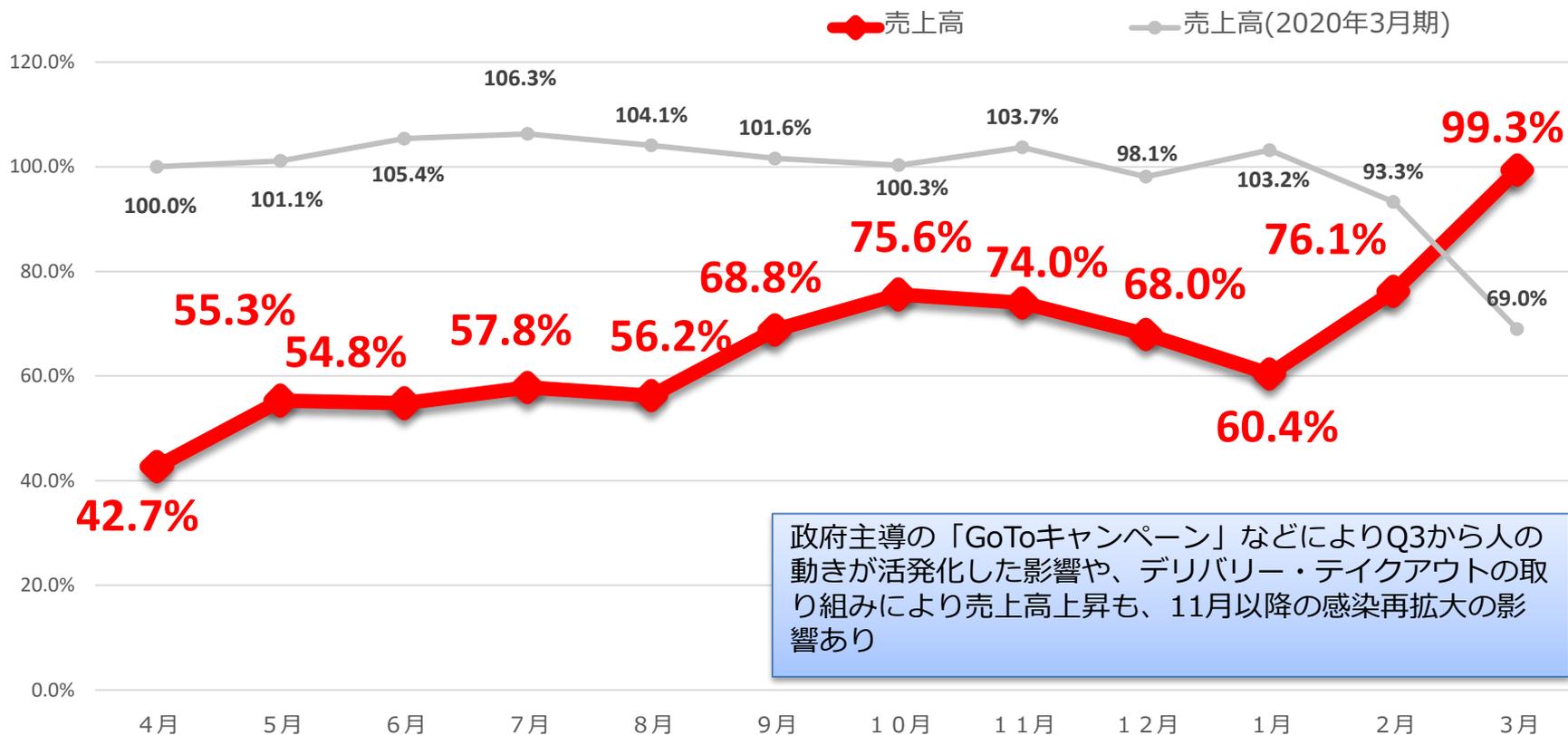
営業利益



**新型コロナウイルスの影響により売上高前年比は53.8%
売上減少による家賃、人件費等の固定費率増加により営業赤字となる
(前期のセグメント営業利益率はQ4にコロナの影響があり2.3%)**

既存店前年比は累計で66.7%

2021年3月期 国内既存店の売上高/客数/客単価の推移



政府主導の「GoToキャンペーン」などによりQ3から人の動きが活発化した影響や、デリバリー・テイクアウトの取り組みにより売上高上昇も、11月以降の感染再拡大の影響あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
売上高	42.7%	55.3%	54.8%	57.8%	56.2%	68.8%	75.6%	74.0%	68.0%	60.4%	76.1%	99.3%	66.7%
客数	44.2%	55.7%	56.8%	58.8%	57.4%	70.5%	74.8%	72.8%	67.6%	59.8%	74.1%	95.5%	66.7%
客単価	96.7%	99.3%	96.6%	98.2%	97.9%	97.6%	101.1%	101.7%	100.6%	101.1%	102.8%	104.0%	99.9%

◆ 売上高

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴うQ1・Q4の店舗休業、時間短縮の影響が甚大
- 店舗の衛生対策を徹底し、さらにはCO2センサー活用による密の見える化
- シーズナル商品の導入やデリバリー、テイクアウトを開始し、既存店売上高は回復基調も11月以降の感染拡大の影響あり

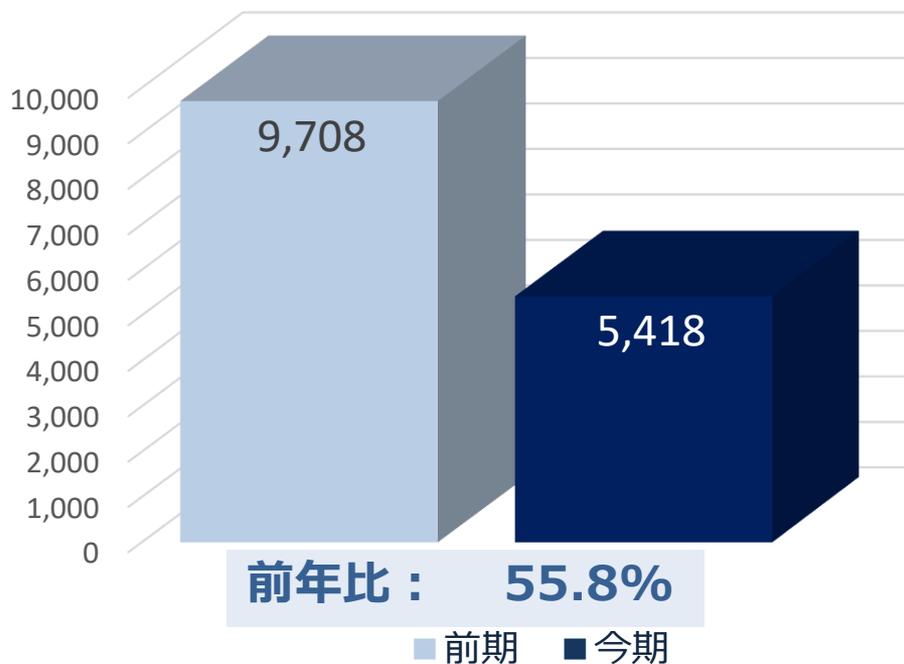
◆ 営業利益

- 各種コスト削減施策（DX推進・ブロック制導入による効率化）によりQ3・Q4の黒字化が見えた
- Q1・Q2は利益にマイナスの影響も、売上回復、店舗運営効率向上、ならびに不採算店舗の閉店によりQ3は黒字化

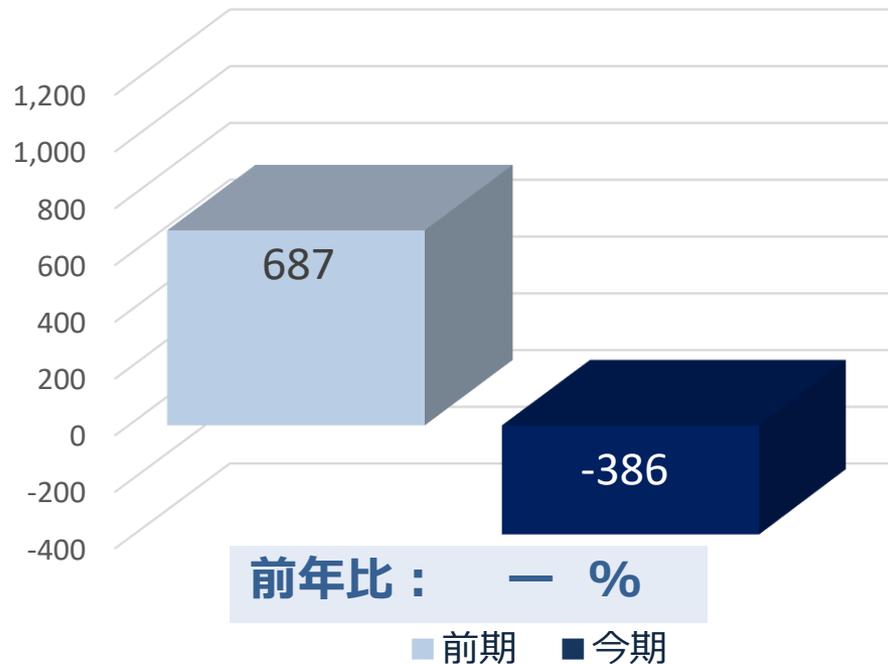
累計：海外店舗運営

単位：百万円

売上高



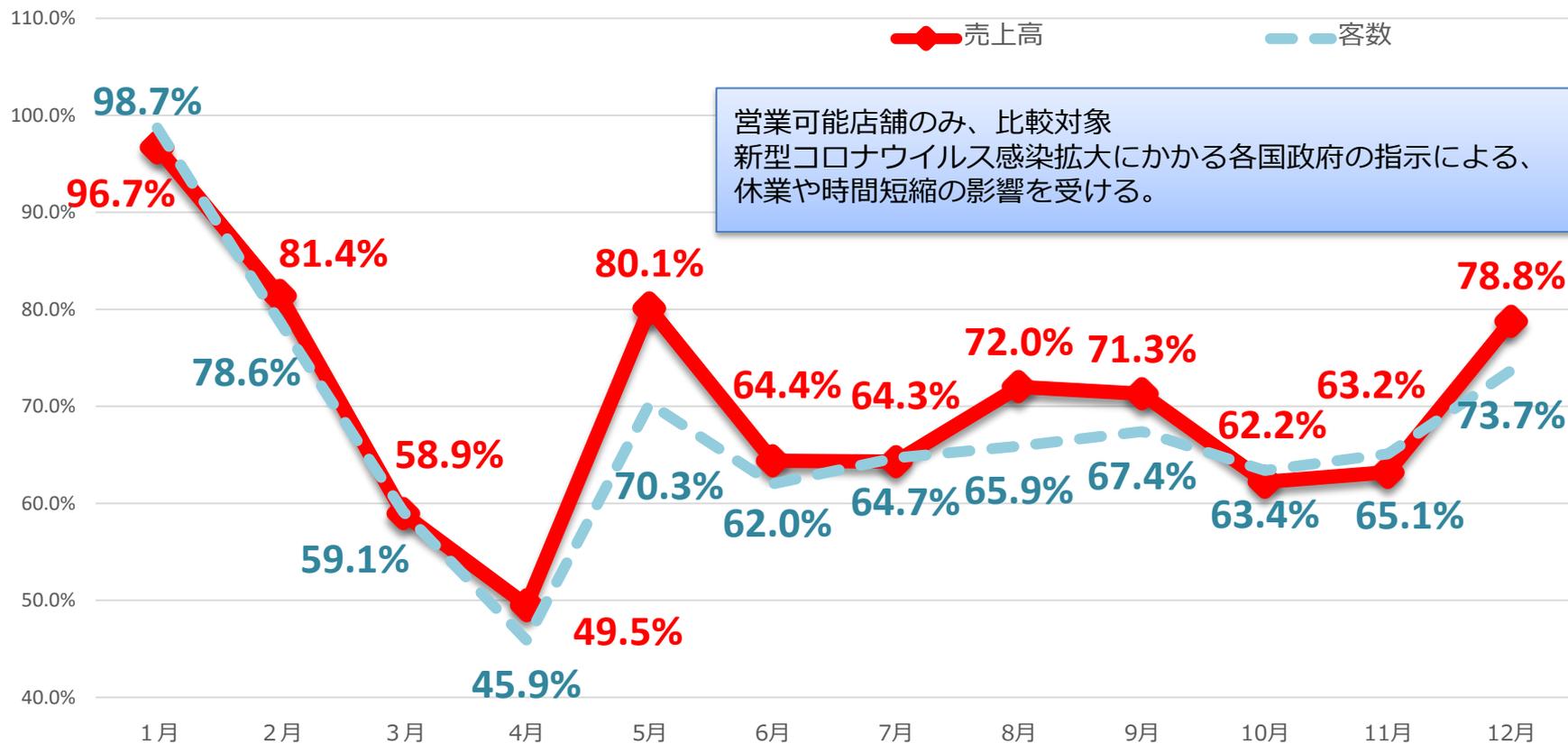
営業利益



Q1から多くの国でのロックダウン、営業再開後も欧米を中心に第2・第3のロックダウンが生じ
売上高前年比55.8%。欧米ではワクチン接種が進み経済活動制限解除の兆しあり
(前期のセグメント営業利益率は7.1%)

既存店前年比は累計で72.3%

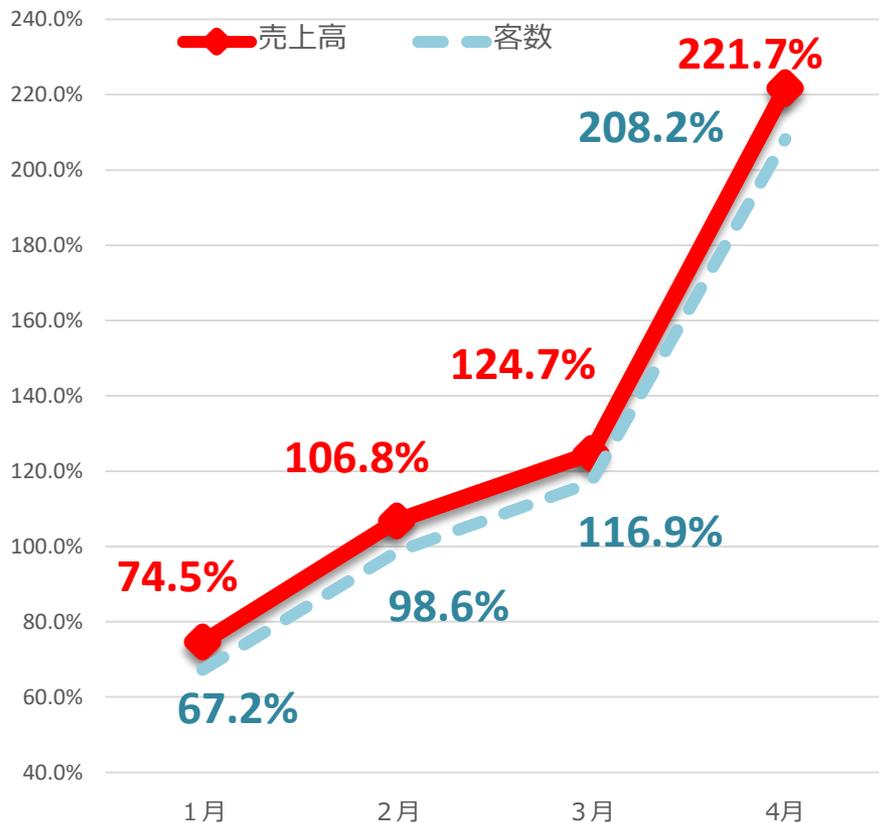
2020年12月期 海外既存店の売上高/客数/客単価の推移



※既存店の算出は店内営業のみを定義としており、
店内営業実施店舗は、使用可能席数率に関わらず、既存店前年比に算入しております。

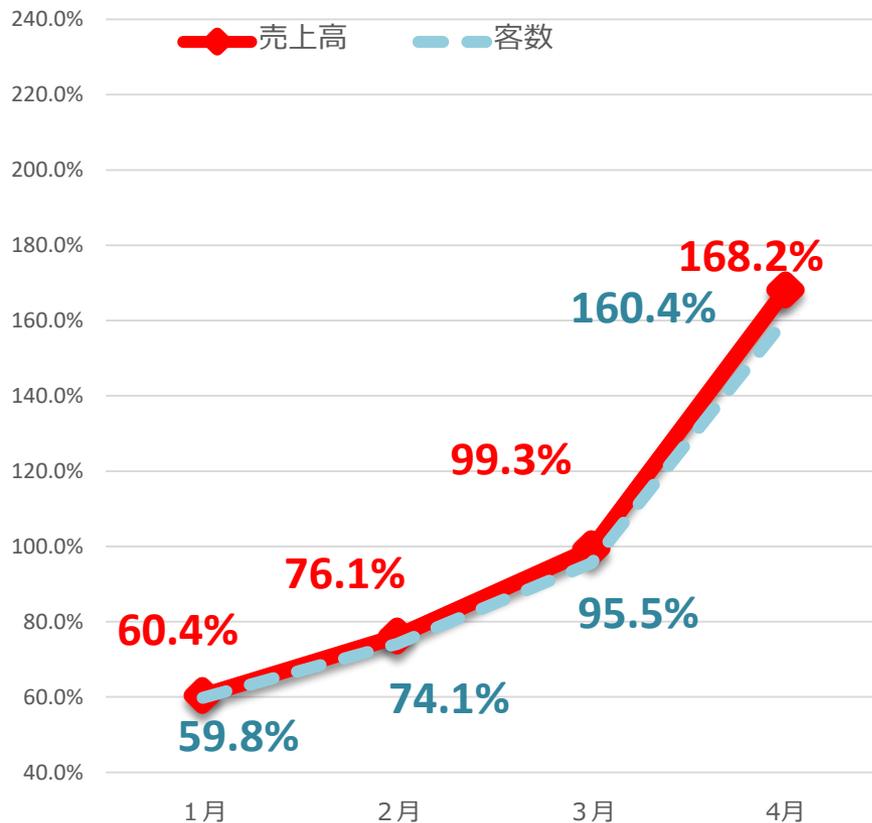
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	96.7%	81.4%	58.9%	49.5%	80.1%	64.4%	64.3%	72.0%	71.3%	62.2%	63.2%	78.8%	72.3%
客数	98.7%	78.6%	59.1%	45.9%	70.3%	62.0%	64.7%	65.9%	67.4%	63.4%	65.1%	73.7%	70.4%
客単価	98.0%	103.6%	99.6%	108.0%	114.0%	103.9%	99.3%	109.2%	105.9%	98.1%	97.1%	106.8%	102.8%

海外既存店前年比



	1月	2月	3月	4月
売上高	74.5%	106.8%	124.7%	221.7%
客数	67.2%	98.6%	116.9%	208.2%
客単価	110.8%	108.3%	106.7%	106.5%

国内既存店前年比



	1月	2月	3月	4月
売上高	60.4%	76.1%	99.3%	168.2%
客数	59.8%	74.1%	95.5%	160.4%
客単価	101.1%	102.8%	104.0%	104.8%

◆ 売上高

- 台湾・シンガポール・オーストラリア等、比較的早期に再開できた事業エリアがそれ以外のエリアを支えた1年となった
- 欧米においては主にデリバリー・テイクアウトのみの営業を強いられたがフランスでは単月黒字化を達成
- 店舗営業ができない中においても、冷凍ラーメンの開発を行い、通信販売を開始

◆ 営業利益

- 大幅な赤字とはなったものの、ワクチン接種の進行により回復の兆し
- 各国補助金は、特別利益として計上しており、営業利益には影響せず

セグメント別概要：国内商品販売・その他・全社／Q3累計



国内商品販売

コアのBtoB卸売事業は、コロナの影響もあり前年に届かずも、営業利益は通販売上など増加により、前年の2倍に
新ECサイト「麺'S MARKET」をローンチ

その他

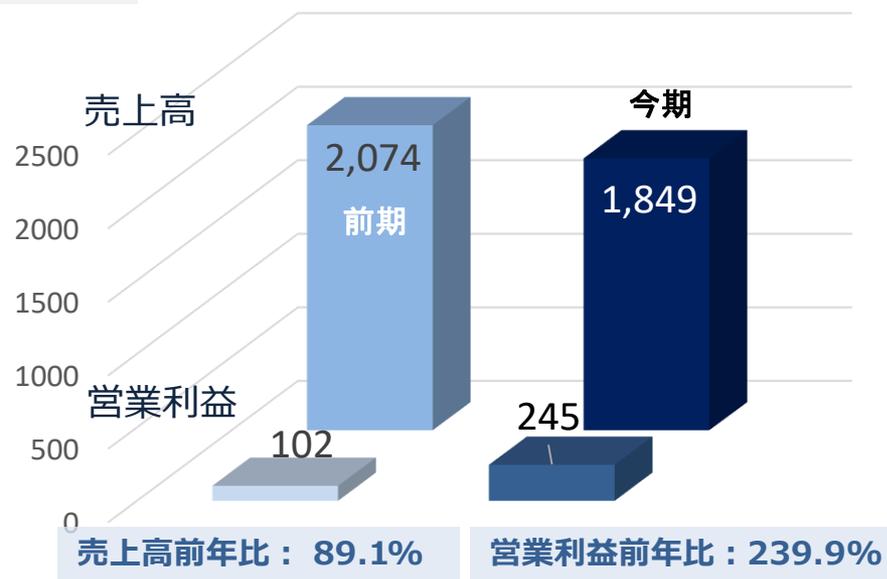
店舗休業にともない、売上高・営業利益ともに大きく影響

全社

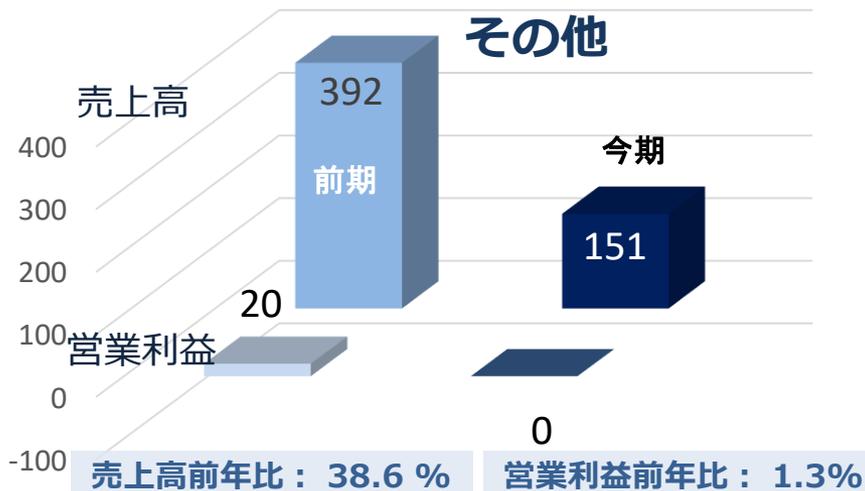
前年比180百万円(35.6%)のコスト削減
詳細は次ページに

単位：百万円

国内商品販売



その他



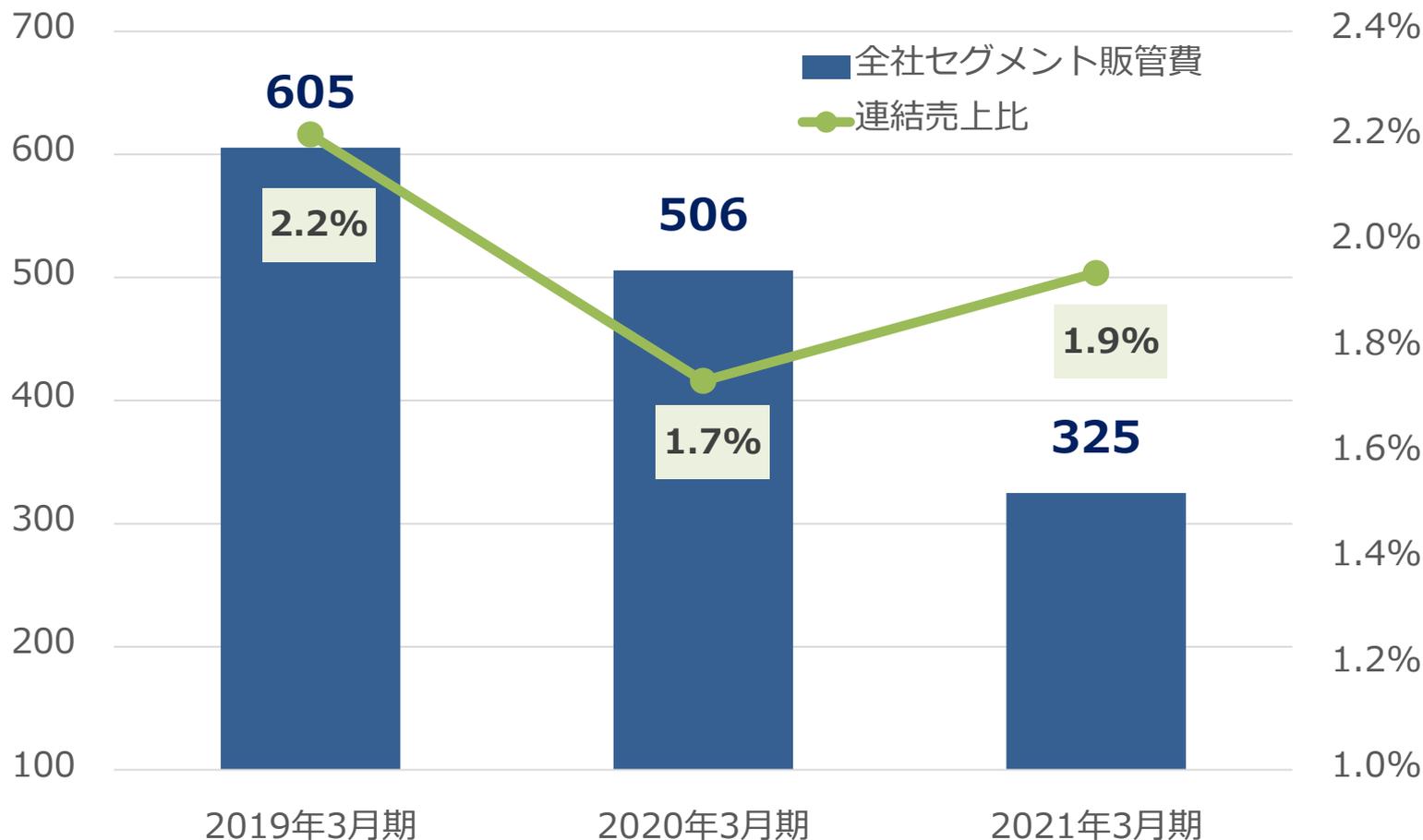
全社



※ 因幡うどんブランドを その他から国内店舗へセグメント変更、併せて前期数値も変更しております。

全社セグメント（販管費・売上高比率）の年次推移

単位：百万円



2019年3月期より取り組んでいた商物流改革、POSシステム変更、業務フローの効率化、DX促進、組織変更などの施策が2020年3月期より寄与するも今期は売上高の減少により全社セグメント共通経費の売上高比率は一時的に上昇

内容	金額 (百万円)
新型コロナによる臨時休業損失	1,728
各国政府や自治体の要請による店休や時間短縮営業時の固定費	国内 : 1,131 海外 : 591
戦略的店舗閉店・改装や移転による損失	557
閉店 22 店舗 改装や移転 4 店舗 分家暖簾移行 1 店舗	
投資有価証券評価損	66
店舗における、販売システム変更等	38
事務所の移転や解約等	32
合計	2,423

連結貸借対照表



CHIKARA no MOTO

単位：百万円

	2020年 3月末	2021年 3月末	GAP		2020年 3月末	2021年 3月末	GAP
流動資産 (うち現金及び預金)	5,424 (3,759)	5,832 (3,974)	+408 (+215)	負債合計	11,580	14,360	+2,780
有形固定資産	7,181	7,238	+57	株主資本	3,677	1,313	-2,364
無形固定資産	277	206	-71	その他包括利益累計額	130	-0	-130
投資その他の資産	2,510	2,396	-114	非支配株主持分	5	-	-5
固定資産	9,969	9,841	-128	純資産合計	3,813	1,312	-2,501
資産合計	15,393	15,673	+280	負債純資産合計	15,393	15,673	+280

■ 資産

・現金及び預金の増加	+215百万円
・繰延税金資産の増加	+82百万円
・受取手形及び売掛金の増加	+85百万円
・有形固定資産の増加	+57百万円
・投資有価証券の減少	-68百万円
・敷金及び保証金の減少	-127百万円

■ 負債

・有利子負債の増加	+2,136百万円
-----------	-----------

■ 純資産

・当期純損失の計上	-2,392百万円
-----------	-----------

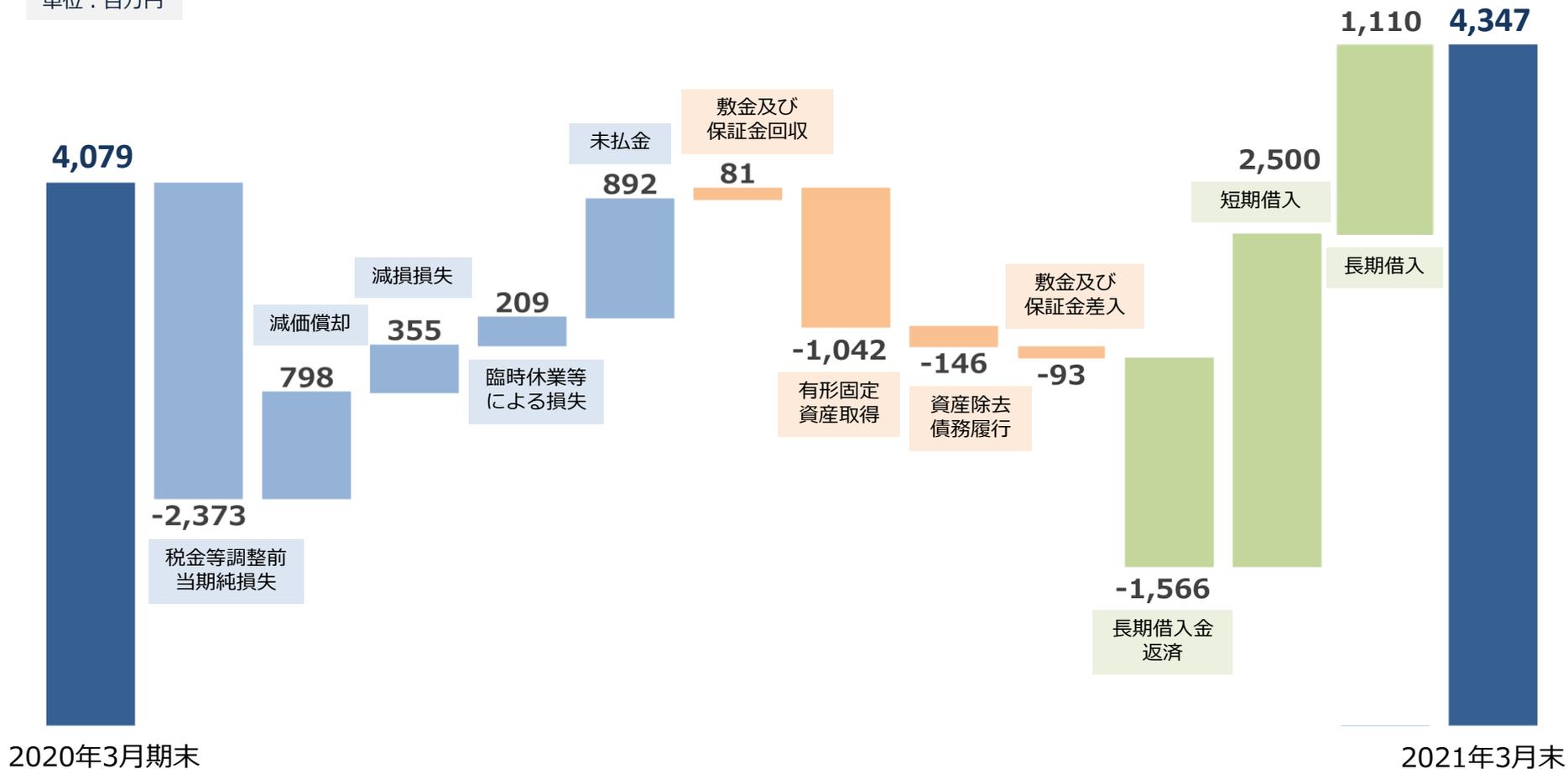
※自己資本比率8.4%

(2020年3月末24.7%)

当期純損失を2,392百万円計上も、各種の資金調達により
キャッシュポジションを維持

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円



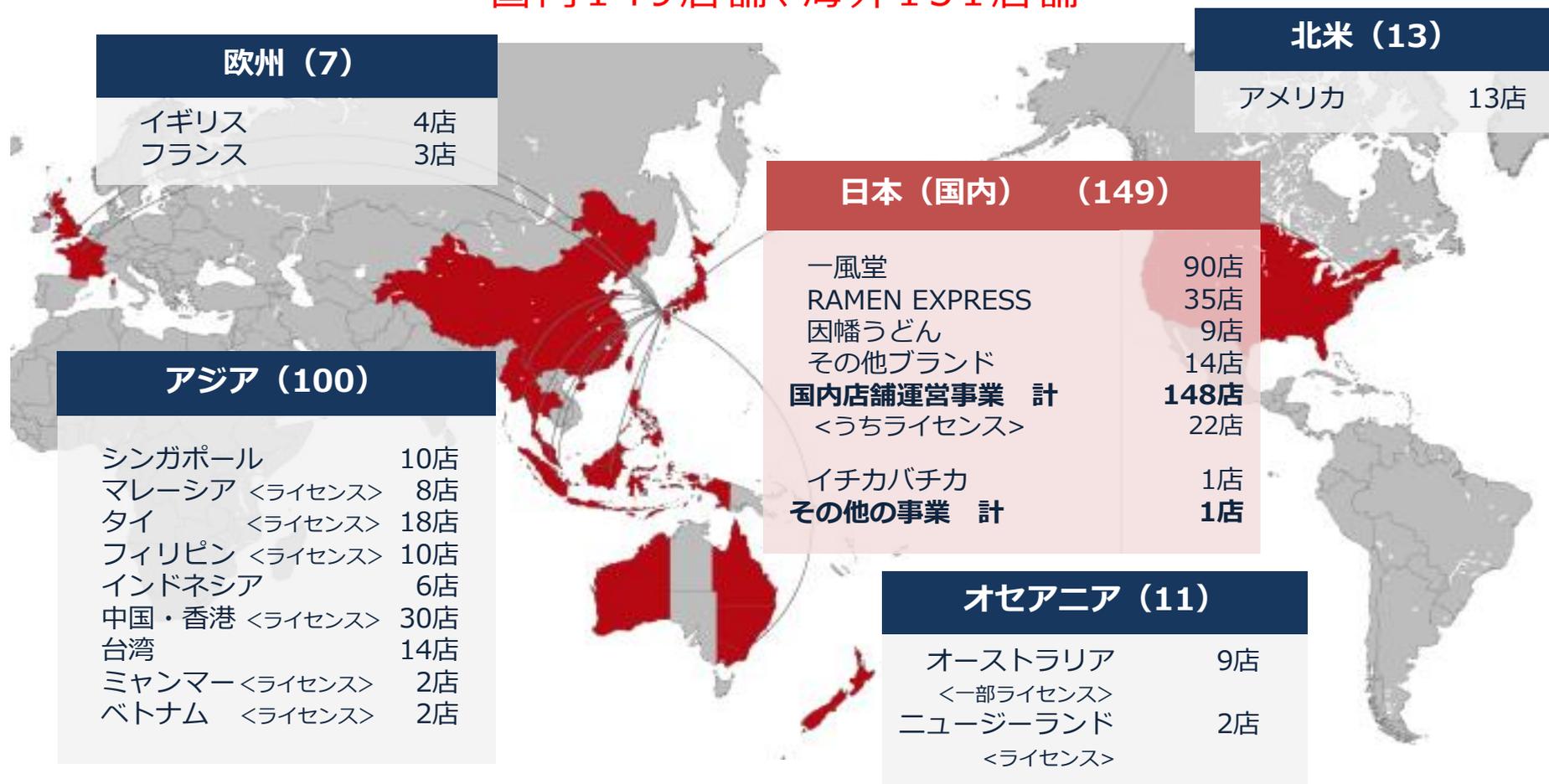
現金及び現金同等物は+267百万円
EBITDAは-148百万円

(2021年3月末現在)

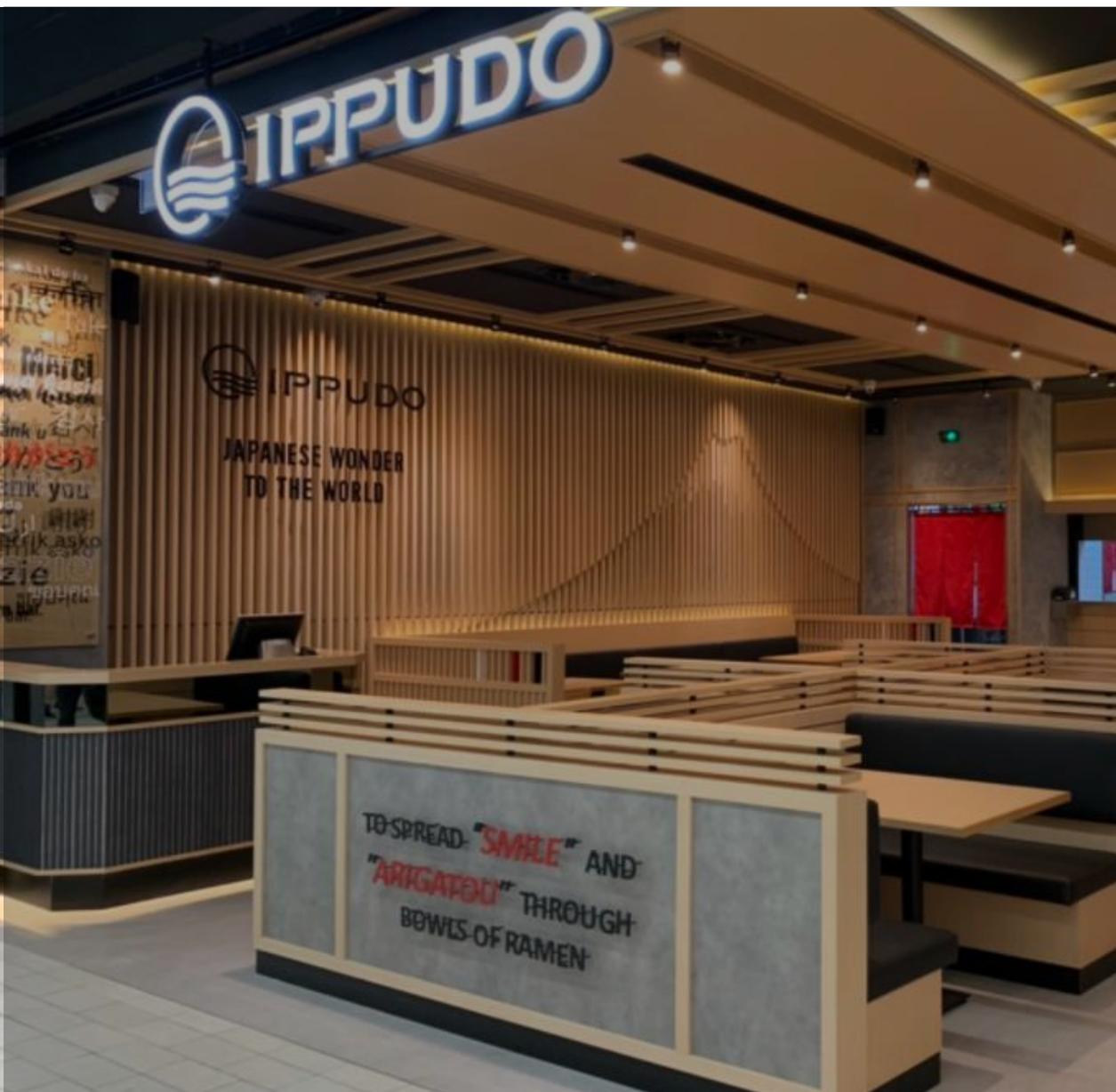
Global 15ヶ国・地域 Total 280 店舗

(前期末からの増減 -8店舗)

国内149店舗、海外131店舗



主な実施事項



MALAYSIA IPPUDO
One Utama Shopping Centre
2021年3月15日 Grand Open

資金調達の目的

- ・新型コロナ感染拡大による影響で一時的に業績悪化した財務基盤の建て直し
- ・コロナ禍による経済環境の変化にあわせた出店投資
- ・提携先の有するノウハウを活かし成長に向けた新規事業拡大の可能性を模索する

資金使途 (3か年)

2021年6月から3年間を目途に

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 国内における新規出店費用
分散経済に対応した損益モデル出店
店舗DX推進
店舗以外のチャネル開拓 | 1,481百万円 |
| 2. 海外における新規出店費用
既存の国・エリアでのドミナント強化
新規国出店調査 | 2,098百万円 |

資金調達方法の概要及び選択の理由

資金調達方法		割当先	概要
A 新株発行(第三者割当)		株式会社麻生	想定調達額 : 1,646百万円 調達時期 : 即時 固定発行価額 : 558円 (条件決定日13日の終値から 5%ディスカウント) 発行株数 : 295万株
B 新株予約権	トランシE1	Weiss Asset Management (Japan International Partners LLC)	想定調達額 : 1,174百万円 行使期間 : 2021年6月1日~2024年5月31日 (3年間) 固定行使価額 : 587円(条件決定日13日の終値) 新株予約権数 : 2万個(200万株)
	トランシE2		想定調達額 : 764百万円 行使期間 : 2021年6月1日~2024年5月31日 (3年間) 行使価額 : 764円(条件決定日13日の終値×130%) 新株予約権数 : 1万個(100万株)

- 新株発行 : 当社の資金需要に対し一定の金額を発行時点で調達することができ、かつ速やかに資本に充当される
 新株予約権 : 将来的な資金需要についても株価への悪影響を抑制しつつ資金調達を実現していくことが期待できる

お客様に安心してお食事いただけるよう、

感染予防対策を徹底しています。

消毒を徹底しています。

- ・従業員の手洗い・アルコール消毒
- ・店頭でのお客様用アルコール消毒液の設置
- ・店内設備のこまめな消毒

体調管理を徹底しています。

- ・37.5度以上の出勤制限、および店舗での検温実施

換気を徹底しています。

- ・空調の換気システムにより、数分単位で空気を入れ替え
- ・1時間に1回5分間の入口開放

飛沫・接触感染の防止を徹底しています。

- ・従業員マスク着用の徹底
- ・お客様によるアプリのクーポン消し込みのお願い
- ・手書き伝票廃止による接触機会の軽減
- ・パーティションの設置

サービス品のご提供方法を変更いたします。

- ・辛もやし、高菜、紅しょうが等をご希望されるお客様はお手数ですがスタッフまでお声がけください

今後も感染拡大の状況を踏まえて、逐次適切な対策に努めてまいります。
お客様のご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社チカラのmotoホールディングス

お客様へのお願い

発熱(37.5℃以上)がある方・
体調不良の方・咳の症状がある方は
ご来店をご遠慮ください



手の消毒に
ご協力をお願いします



マスク着用にご協力をお願いします



距離を保って
お並びください



お金はトレーに
お願いします



つり銭もトレーに
置かせていただきます

大声での会話は
ご遠慮ください



無料の副菜を
ご希望の方は
お声がけください



当店は、 Co2センサーにて 空気の濃度を計測、 適時換気しています

≡ 一風堂全店、随時導入中! ≡

上記の取り組みは、今後も継続いたします

シーズナル商品及び既存商品リニューアルについて

IPPUDO RAMEN EXPRESS

博多一風堂が
極太に挑戦!?

ニンニクを漬けた
醤油をベースに、
一風堂のシルキーな
豚骨スープをかけあわせ。
醤油を引き立たせるために
鶏油で甘みをプラスした
ガツツリ系
醤油豚骨!

おすすめ
トッピングを
裏で紹介

醤油豚骨 ¥920税込
大盛り ¥1,070税込

期間限定：4月12日(月)スタート!

IPPUDO

とんこつのように、
とんこつじゃない。
植物由来の
原料で作られた
未来志向のラーメン。

2021
2.1 (MON)
期間限定
発売!

このおいしさ
初体験。

PLANT-BASED RAMEN
**プラントベース
赤丸**

コク深豆乳+昆布だしのスープ、
卵不使用の食物繊維入り全粒粉種、
豆ペーストの代替肉チャーシュー、
進化した茶葉志向の赤丸を、
まずは一度お試しください!

1,000円
【税込1,100円】

IPPUDO RAMEN EXPRESS

「ポカポカ」あつたまる、
一風堂の味噌とんこつ

味噌とんこつ

’20-'21
IPPUDO
WINTER

杯数限定
(+税)
冬季限定 **890円**

販売期間：2020年11月27日(金) START!!

シーズナル商品として動物性食材を使用しないプラントベースのラーメン提供や
既存商品のリニューアルで新規顧客の獲得および再来店を誘引

その他の取り組みについて

粉と一緒に遊ぼうよ!

大人だって昔はみんな子どもだった。
子どもと一緒に、子どもになれる空間。
あの頃に戻れる空間。それがチャイルドキッチンです。

チャイルドキッチン
4つの
コンセプト

自分たちで
つくることの
喜び

料理の
楽しさ

食の大切さ
食への感謝

仕事の
達成感



感染予防対策を徹底しています。



※感染対策を講じてチャイルドキッチンを再開



※一風堂キッチンカー「子ども食堂」開催

休止していたチャイルドキッチンは感染対策を講じて再開。
「あなたの街に一風堂」という試みでキッチンカーによる子ども食堂の活動開始。
キッチンカーによる出張チャイルドキッチンでの食育活動を今後視野に。

今期以降の出店：一風堂モデル損益（イメージ）

従来のモデル損益		
	金額(千円)	売上比
売上	12,000～15,600	
変動費	7,622～9,588	61.5% ～63.5%
固定費	2,981～3,667	23.5% ～24.8%
営業利益	1,397～2,345	11.6% ～15.0%
投資	65,000～75,000	—
EBITDA	1,758～2,762	14.7% ～17.7%
BEP	8,171～9,515	—

今期以降の出店モデル損益		
	金額(千円)	売上比
売上	5,600～9,100	
変動費	3,654～5,702	62.7% ～65.3%
固定費	1,119～1,922	20.0% ～21.1%
営業利益	827～1,476	14.8% ～16.2%
投資	25,000～40,000	—
EBITDA	966～1,698	17.2% ～18.7%
BEP	3,220～5,148	—

従来の人口密集立地ではなく、都心部近郊の小商圈やロードサイドへの出店を前提とした低投資、早期回収の収益モデル。昨年11月オープンの浅草橋本舗、3月の亀有店から導入を開始。検証と改善を重ねながら、2021年においては4月に横浜泉店、5月に岸和田店、6月に武蔵小山店と続々と展開していく。

2022年3月期 (今期) 計画



2022年3月期業績予想

単位：百万円	2021年3月期 実績	2022年3月期 見込	前年比	
			増加額	増加率
売上高	16,539	20,130	+3,591	+21.7%
営業利益	-980	548	+1,528	—
経常利益	-1,010	509	+1,503	—
親会社株主に帰 属する純利益	-2,392	248	+2,641	—

コロナの影響は不透明なもの国内は軟調に回復、
海外ではワクチン接種率上昇から段階的に回復を見込み、
増収・黒字化を計画

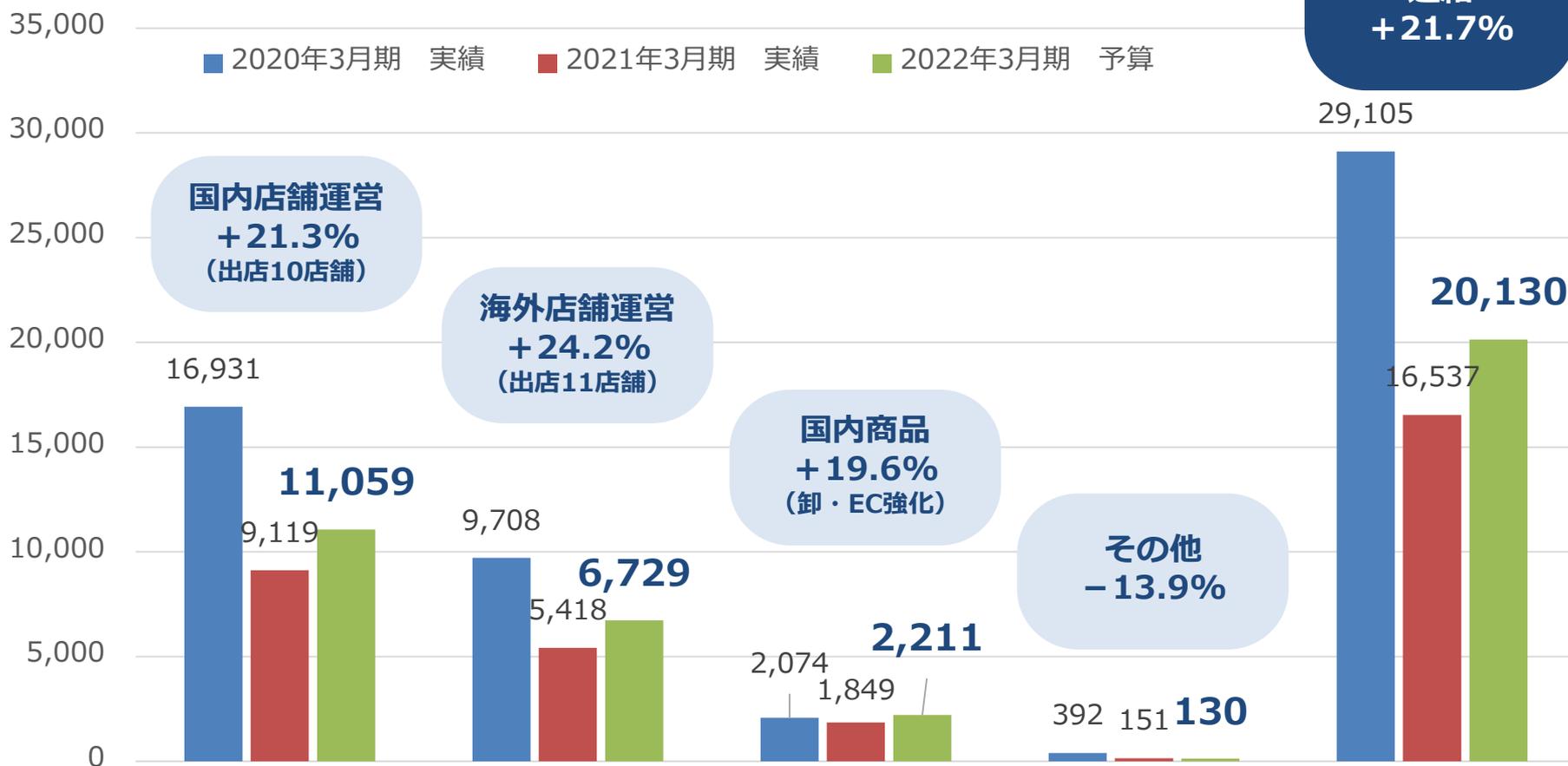
2022年3月期業績予想（売上高）

単位：百万円

前年対比%

■ 2020年3月期 実績 ■ 2021年3月期 実績 ■ 2022年3月期 予算

**連結
+21.7%**



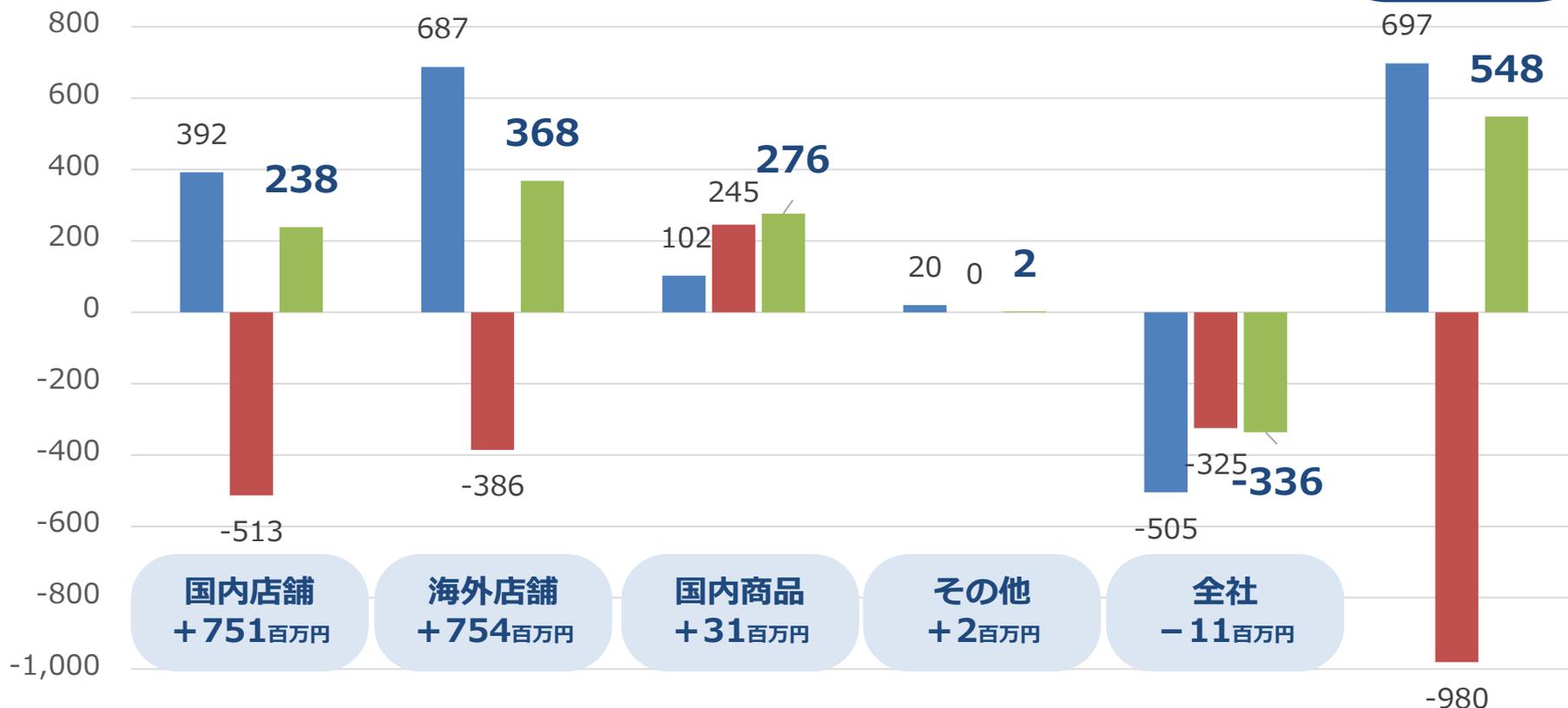
グループ全体で出店21店舗（うちライセンス11店舗）、閉店譲渡2店舗を予定も、資金調達の状況により流動的に出店を増加する

2022年3月期業績予想（営業利益）

単位：百万円

連結
+1,528百万円

■ 2020年3月期 実績 ■ 2021年3月期 実績 ■ 2022年3月期 予算



国内・海外店舗はモデル収益出店による利益改善

全社コスト比率は、前期の業務効率化やDX推進等の取り組みによる基盤ができ、
前期1.9%から1.7%の改善見込

付属資料



■ 創業の精神 ■

**食を通して新しい価値を創造し
「笑顔」と「ありがとう」とともに
世界中に伝えていく。**

変わらないために、変わり続ける。



※コロナ禍の中においても、次なる飛躍、成長のための想いを込め、創業35周年を迎えた2020年10月16日に刷新しております

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 13億831万円（発行済株式数：24,040,800株）
- 決算期 3月
- 従業員数 35名（連結537名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役社長	河原 成美	Mr. Shigemi Kawahara
取締役	中尾 徹	Mr. Toru Nakao
取締役	山根 智之	Mr. Tomoyuki Yamane
取締役（監査等委員）	鈴木 康義	Mr. Yasuyoshi Suzuki
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	辻 哲哉	Mr. Tetsuya Tsuji
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	田鍋 晋二	Mr. Shinji Tanabe

（2021年3月末現在）

白丸元味

原点の一杯



創業当時からの味を今に引き継ぐ、一風堂の豚骨ラーメンの本流であり、原点の味。シンプルな豚骨の旨味を極限まで抽出した豊かで香り高いシルキーなスープに、小麦本来の風味が香る博多の細麺がマッチします。

赤丸新味

革新の一杯



自家製の香味油と辛みそを加えることで、一杯のラーメンの中でいくつもの味の奥行きと調和を楽しめる。白丸が正統派のとんこつラーメンならば、赤丸新味は豚骨ラーメンの可能性を広げた“革新派”。

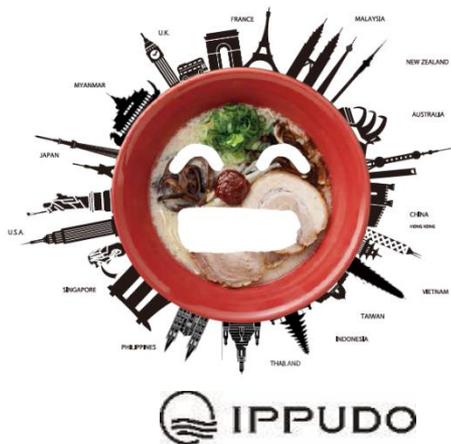
極からか麺



シルキーな豚骨スープに、自家製ラー油と香油を合わせ辛味とコクをプラスし、数種類のスパイスを合わせた肉味噌と「シーズニング天かす」を大胆にトッピング。別皿で添えた「胡麻ばくだん」を途中で溶かすと、担々麺風に味変します。

※「極からか麺」は創業35周年を迎えた2020年10月16日にメニューの刷新を行っております。

世界中に笑顔とありがとうを



2019.10 Global Leadership Conference開催

2018.11 海外100店舗を達成

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2017.3 東京証券取引所マザーズに株式を上場

2016.2 フランス パリに初出店

2015.10 創業30周年 記念イベント実施

2014.10 イギリス ロンドンに初出店 (欧州初進出)

2009.5 シンガポールに、アジア1号店をオープン

2008.3 アメリカ・NYに、海外1号店をオープン

1997.1 テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

1995.4 東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1994.3 横浜市の「新横浜ラーメン博物館」に出店。関東初進出

1985.10.16 **創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン**

1979.11 福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン



本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者に開示されまたは第三者により利用されることはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません、

また本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

